

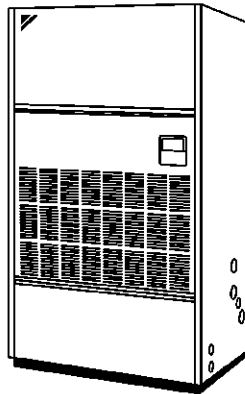


取扱説明書

パッケージエアコン VRVエアコン

《セパレート形》

床置形



掲載機種

〈設備用ZEAS〉		〈標準タイプ〉	
〈冷暖房兼用タイプ〉	〈冷房専用タイプ〉		
SZVYCP140D・F・G・J	SZVCP140D・F・G・J	SVYCP140D・F・G・J	
SZVYCP224D・F・G・J	SZVCP224D・F・G・J	SVYCP224D・F・G・J	
SZVYCP280D・F・G・J	SZVCP280D・F・G・J	SVYCP280D・F・G・J	
SZVYCP450D・F・G・J	SZVCP450D・F・G・J	SVYCP450D・F・G・J	
SZVYCP560D・F・G・J	SZVCP560D・F・G・J	SVYCP560D・F・G・J	
〈ビル用マルチ〉	〈省工事形クリーンルーム用〉	〈年間冷房中温形〉	
FVYCP140M	SVYCP140DF・FF・GF・JF	SZVCP224MK	
FVYCP224M	SVYCP224DF・FF・GF・JF	SZVCP280MK	
FVYCP280M	SVYCP280DF・FF・GF・JF	SZVCP450MK	
FVYCP450M	SVYCP450DF・FF・GF・JF	SZVCP560MK	
FVYCP560M	SVYCP560DF・FF・GF・JF		

- このたびはパッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- ビル用マルチの場合は、室外ユニット付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。
保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前に

安全について

必ず守ってください	1
各部の名前と働き	4
リモコン各部の名前と働き	
コントロールパネル	5
冷暖切換リモコン(別売品)	6

ご使用の前に

運転について

運転のしかた

冷房・暖房・送風運転のしかた	
コントロールパネルより運転モードの切換えを行う場合	7
冷暖切換リモコンより運転モードの切換えを行う場合	9
タイマー運転のしかた	11
上手な使いかた	13

運転について

お手入れについて

お手入れのしかた

日常のお手入れ	14
シーズン始め・終わりのお手入れ	15
エアコンのメンテナンス(サービスマン用)	16

お手入れについて

知っておいてください

調子がおかしいときは	17
製品の種類と運転音	22
アフターサービスと保証について	25
お客様ご相談窓口	裏表紙

知っておいてください



上手に使って上手に節電

安全について






必ず守ってください

ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		

警告 使用上の注意事項

- 長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない
体調悪化・健康障害の原因になります。 禁止
- 吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
(吹出口および風向羽根はプレナムキット取付時のみ) 禁止
- 分解や改造・修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。 禁止
- 調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 禁止
- 調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。 禁止
- 冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。 禁止
- ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。 禁止
- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 禁止
- 電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。 禁止
- 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。
- 洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。
- 室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

⚠️ 注意 使用上の注意事項

● **特しゅ用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。



禁止

● **長期使用などで傷んだままの据付台を
使用しない**
傷んだ状態で放置するとユニットの
落下につながり、けがなどの原因に
なることがあります。



禁止

● **室内・室外ユニットの上に乗ったり、
物を載せたりしない**
落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。



禁止

● **室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて
困るものは置かない**
運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口のつまりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。



禁止

● **エアコンの風が直接当たるところで
燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因に
なることがあります。



禁止

● **室内ユニットの近くでほかの暖房器具を
使わない**
暖房器具の熱により樹脂部品などが
変形することがあります。



禁止

● **動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。



禁止

● **吹出口の近くにスプレー缶などを
置かない**
室内・室外ユニットからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれ
があります。



禁止

● **本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や
健康障害の原因になることがあります。



禁止

● **室内・室外ユニットの吸込口や
アルミフィンにさわらない**
けがの原因になることがあります。



禁止

● **室外ユニットの吹出口を取り外さない**
高速で回転するファンにより、けがの
原因になることがあります。



禁止

● **吸込口や吹出口をふさがない**
能力低下や故障の原因になることが
あります。



禁止

● **コントロールパネルは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の
原因になることがあります。
内部の点検調整はお買上げの販売店に
ご依頼ください。



禁止

● **室外ユニットの周辺に、物を置いたり、
落ち葉をためない**
落ち葉などから侵入した小動物が、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になること
があります。



禁止

● **ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

● **室内・室外ユニットを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因に
なることがあります。



水ぬれ禁止

● **室内・室外ユニットの上に花びん・
植木鉢など、水の入った容器を置かない**
内部に水が浸入して感電や火災の
原因になることがあります。



水ぬれ禁止

● **ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の
原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。



● **お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーをしゃ断する**
電源をしゃ断しないと、感電やけがの
原因になることがあります。



● **長期間使用しないときは、
電源をしゃ断する**
ホコリがたまって発熱・発火の原因に
なることがあります。



⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●アース工事を行う

アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



●漏電しゃ断器を取り付ける

取り付けないと感電や火災の原因になります。



●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する

専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。



●冷媒もれ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒がもれて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても限界濃度を超えないように対策する必要があります。



⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスがもれてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



禁止

●コントロールパネルに、水のかかるおそれのある場所には設置しない

水が機器の内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●ドレン配管は、確実に排水するように施工する

不備があると、屋内に水もれし、汚れや故障の原因になることがあります。



据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。

- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ

●防雪対策されていますか？

防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。

お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

●エアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいませんか？

- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？

機能低下や運転音増大の原因になります。

●使用中に異常音がある場合はお買上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

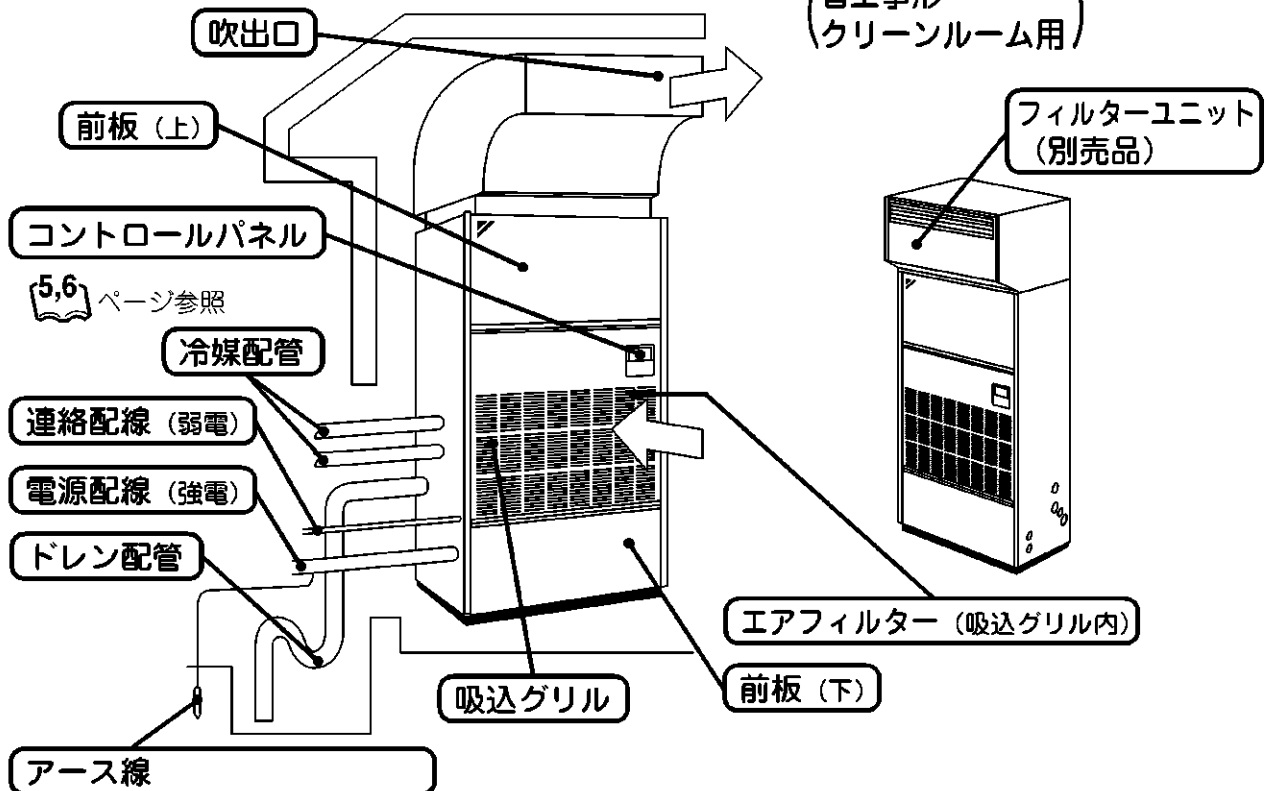
●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？

冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、室内ユニットから水がもれる原因になることがあります。

運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

各部の名前と働き

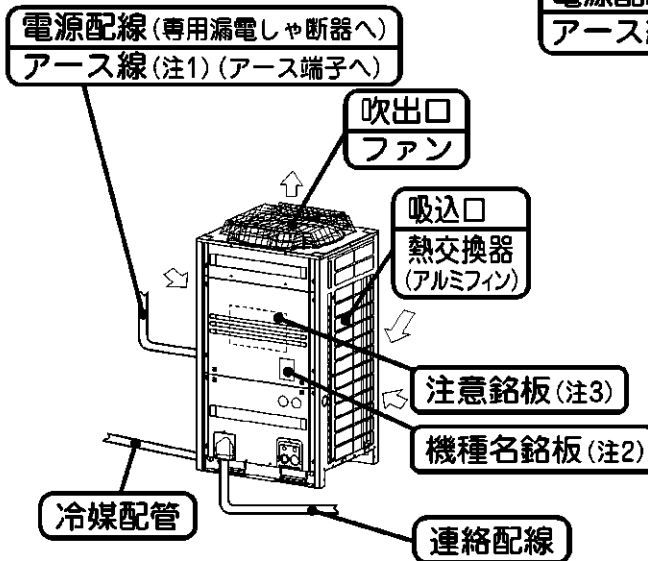
室内ユニット



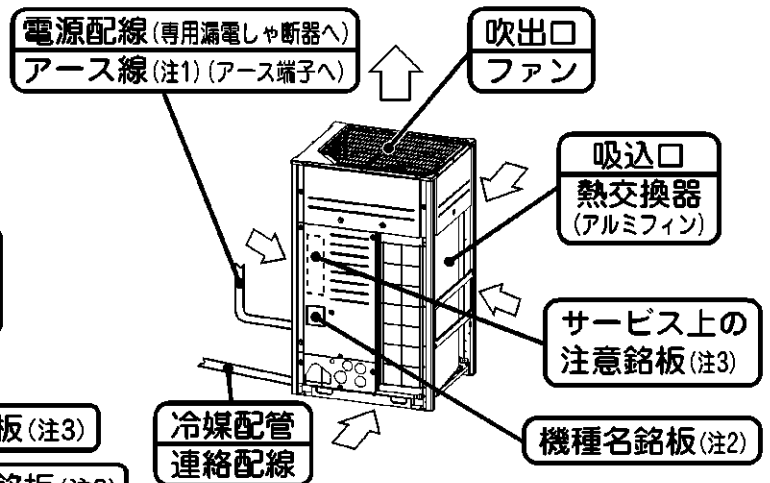
万一の感電・火災防止のため
室内ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

室外ユニット

〈RZYCP140～560D・F・Gの場合〉
 〈RZCP140～560D・F・Gの場合〉
 〈RYCP140～560D・F・Gの場合〉
 〈RZCP224・280MKの場合〉



〈RZYCP140～560Jの場合〉
 〈RZCP140～560Jの場合〉
 〈RYCP140～560Jの場合〉



- (注1) アース線は、万一の感電・火災防止のため、
室外ユニットから大地へ電気を逃がす線です。
- (注2) 工場出荷時の冷媒量およびCO₂換算値が
記載されています。
- (注3) 据付状態により追加充電または再充電された
冷媒量およびCO₂換算値が記載されています。

使用の記

リモコン各部の名前と働き

コントロールパネル

●室内ユニットまたは組込みオプションにより装備している機能が異なります。装備されていない機能のボタン(本文中に記載のないボタン)を操作した場合には、「本機能はありません」が表示されます。機能(ボタン)の詳細については、お買上げの販売店にご確認ください。

運転モード表示

運転中の状態を表示します。

入/切タイマー時間表示

タイマー時間を表示します。

点検/試運転表示

点検/試運転ボタン(サービス用)を押すと、いずれか表示します。
●通常は使用しないでください。

設定温度表示

設定温度を表示します。

機能なし表示

●操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「本機能はありません」と数秒間表示が出ることがあります。
●複数台同時運転の場合「本機能はありません」表示はすべての室内ユニットにその機能が装備されていないときに限り表示されます。1台でもその機能を装備した機種があれば表示されません。

運転/停止ボタン

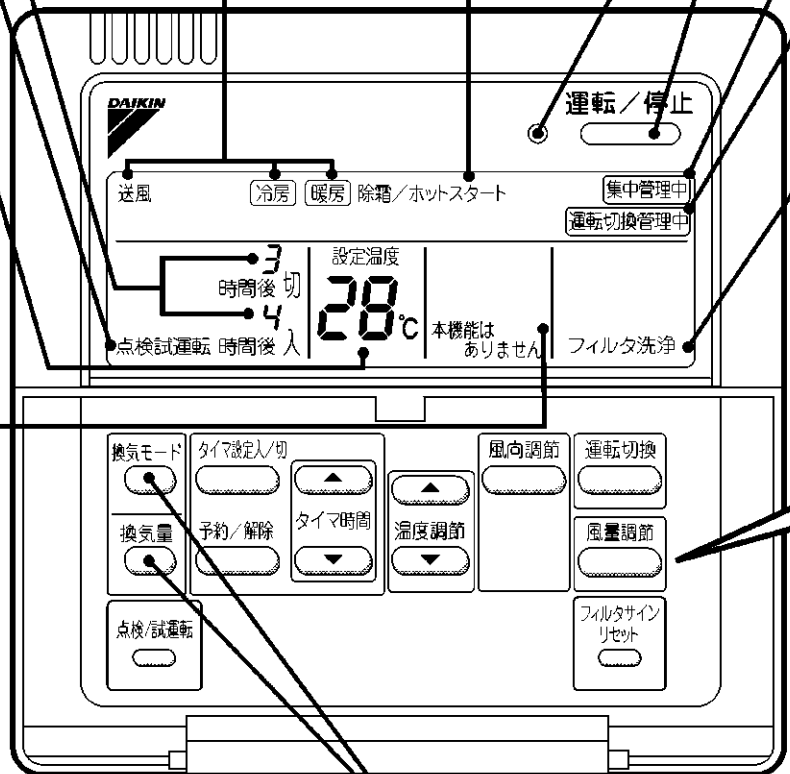
1度押しと運転し、もう1度押しと停止します。

運転ランプ(赤)

運転中は点灯します。

除霜/ホットスタート表示 (SZVCP~MKは除く。)

8,10 ページ参照



お願い

- コントロールパネルに直射日光の当たる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- コントロールパネルのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

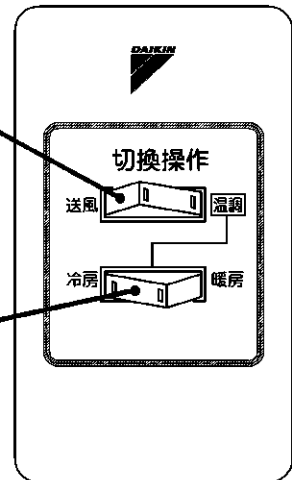
全熱交換器ユニット「ベンティエール」など接続時に使用します。詳細は全熱交換器ユニットの取扱説明書をご覧ください。

表示部

(上の表示は説明のため、すべてを表示しています。)
(実際の運転時とは異なります。)

冷暖切換リモコン(別売品)

(室外ユニットより冷房・暖房を切り換えたい場合に使用します。)



送風/温調スイッチ

冷房・暖房の設定のときは「温調」側に送風の設定のときは「送風」側に倒します。

冷房/暖房スイッチ

冷房運転するときは「冷房」側に、暖房運転するときは「暖房」側に倒します。

集中管理中表示

集中制御機器(別売品)で管理され、コントロールパネルからの操作が禁止されているときに表示します。

運転切換管理中表示

冷房専用タイプ、もしくは冷暖選択権が別のユニットにあるときに表示します。

フィルター洗浄表示

14 ページ参照

タイマー設定入/切ボタン

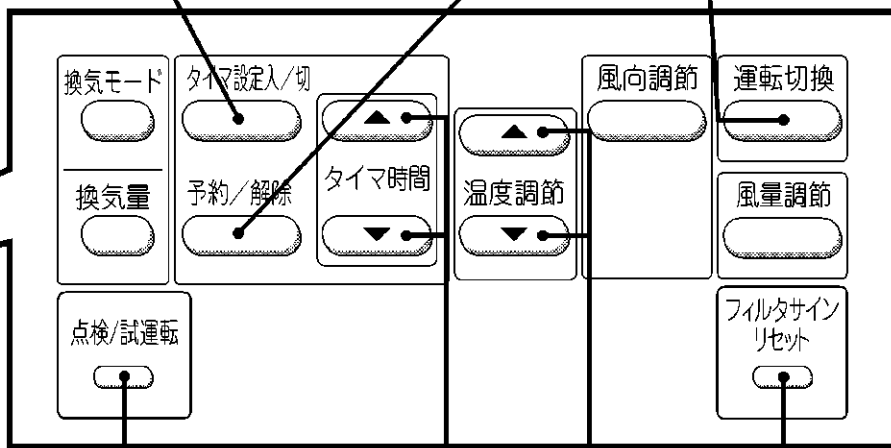
11,12 ページ参照

予約/解除ボタン

11,12 ページ参照

運転切換ボタン

運転モード(「冷房」・「暖房」・「送風」)を切り換えるときに押します。



点検/試運転ボタン(サービス用)

点検または試運転時に押します。
●通常は使用しないでください。

タイマー時間ボタン

タイマー時間の設定のときに押します。
11,12 ページ参照

フィルターサインリセットボタン

15 ページ参照

温度調節ボタン

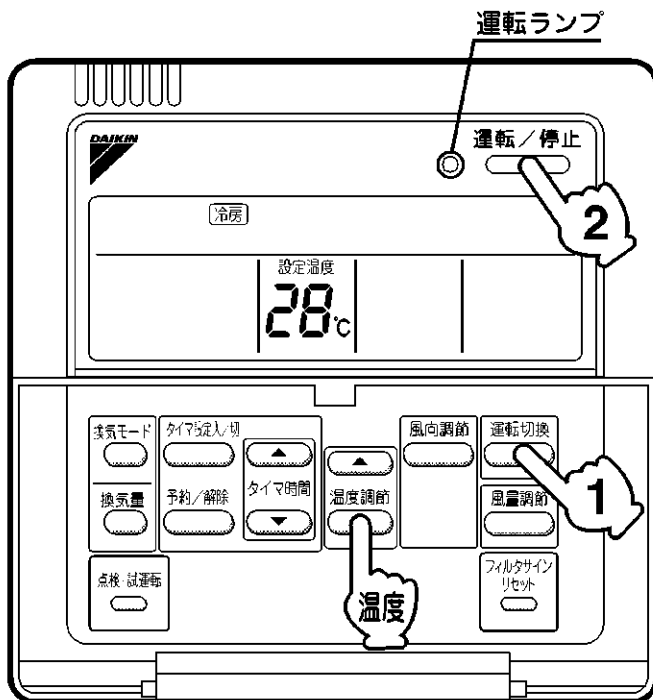
温度の設定のときに押します。
8,10 ページ参照

操作部

(上の図はふたを開けた状態を示しています。)

運転のしかた

冷房・暖房・送風運転のしかた — コントロールパネルより運転モードの切り換えを行う場合



• 上の表示は冷房運転の場合です。

準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

1

運転切換を数回押し、
「送風」→「冷房」→「暖房」
のうちご希望の運転に切り換えます。

- 冷房専用タイプは通常「暖房」は設定できません。(ヒーター取付時のみ可能)

2

運転/停止を押します。
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

停止

もう1度運転/停止を押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

- 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約3分間は送風運転します。

お願い

- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。

運転の内容と働き

<p>冷房</p> <p>おすすめ室内温度は、 26～28℃</p>	<p>暖房</p> <p>おすすめ室内温度は、 18～23℃</p>	<p>送風</p> <p>室内の空気を循環させます。</p>
---	---	---------------------------------------

温度の設定

温度	温度調節 を押します。 「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。 「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。
-----------	--

- 送風運転の場合は設定できません。

(SZV(Y)CP~D・F・G・Jシリーズのみ)

- 設定可能範囲は、冷房18~35℃、暖房15~30℃です。運転モードを変更した場合には次のようになります。
 - ①スポット省エネモード
冷房15~27℃(吹出温度で制御しています。)
暖房15~30℃(吸込温度で制御しています。)
 - ②外気処理モード
冷房15~27℃(吹出温度で制御しています。)
暖房18~35℃(吹出温度で制御しています。)
- 送風運転の場合は設定できません。

次の2つの運転モードに変更することができます。(SZV(Y)CP~D・F・G・Jシリーズのみ)
くわしくはお買上げの販売店にご相談ください。

スポット省エネモード(冷房運転時)

全体空調ではなく、スポット的な空調としてご使用の場合、吹出空気温度を制御することにより省エネ運転を行うことができます。

外気処理モード(冷房、暖房運転時)

外気導入による冷暖房運転を行うことができます。

(この外気処理モードでは室温の制御はできませんので、室温の制御が必要な場合はほかの室温制御用エアコンを併用してお使いください。)

スポット省エネモードおよび外気処理モードにした場合、吹出空気温度をコントロールパネルの設定温度に近づけるように運転制御を行います。

ただし、空調負荷が過大あるいは過小な場合など、吹出空気温度が設定温度に近づかないことがあります。

暖房運転の特性

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

除霜運転

(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため自動で除霜運転に切り換わります。
- 風量が微風または送風停止となります。送風が停止した場合は、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 風量が微風または送風停止の状態は、約6~18分で元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。(17 ページ参照)

ホットスタート

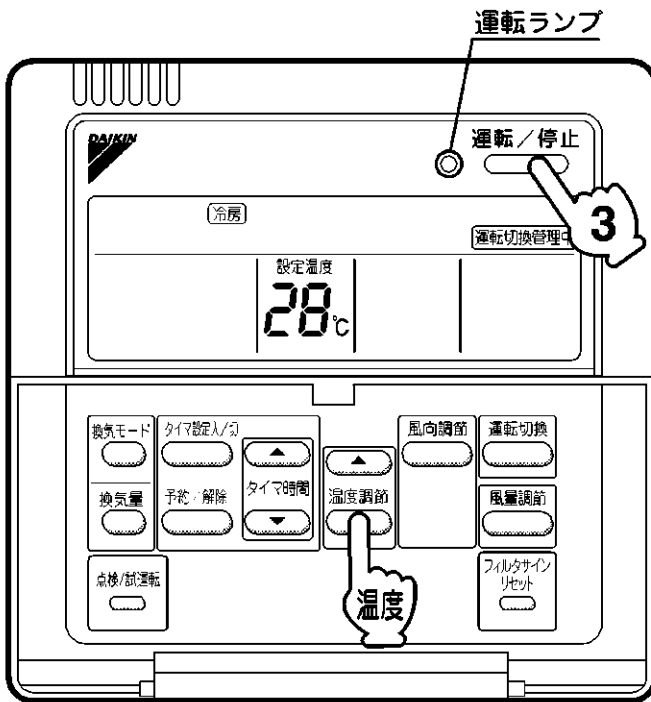
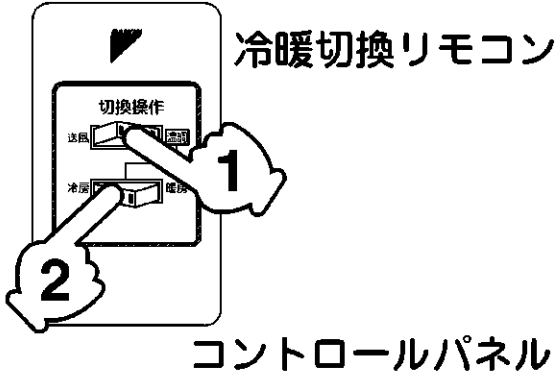
- 暖房運転開始時、冷房から暖房への切換え時など、冷たい空気が吹き出すのを防ぐため送風を停止します。このときコントロールパネルに「除霜/ホットスタート」が表示されます。SVYCP~DF・FF・GF・JFは、暖房運転開始時・除霜運転時などに送風を停止しませんので、冷たい空気が吹き出すことがあります。
- 風量が微風または送風停止の状態は、約6~18分で元の運転に戻ります。

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。このような場合は、ほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買上げの販売店にご相談ください。

冷房・暖房・送風運転のしかた

冷暖切換リモコン(別売品)
より運転モードの切換えを行う場合



●上の表示は冷房運転の場合です。

準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

冷暖切換リモコン

1

「冷房」・「暖房」の場合は**温調**側に、「送風」の場合は**送風**側にスイッチを倒します。

- 冷房専用タイプは通常「暖房」は設定できません。(ヒーター取付時のみ可能)

2

「冷房」・「暖房」のうちご希望の側にスイッチを倒します。

- 送風運転の場合は設定する必要はありません。

コントロールパネル

3

運転/停止を押します。運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

- 冷暖切換リモコンで運転モードの切換えを行う場合には、コントロールパネルに「**運転切換管理中**」が表示されます。コントロールパネルでは冷暖房の切換えはできません。ただし、送風運転の切換えは可能です。

運転の内容と働き

<p>冷房</p> <p>おすすめ室内温度は、 26～28℃</p>	<p>暖房</p> <p>おすすめ室内温度は、 18～23℃</p>	<p>送風</p> <p>室内の空気を循環させます。</p>
---	---	---------------------------------------

温度	<p>温度調節を押します。 「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。 「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。</p>
-----------	--

- 送風運転の場合は設定できません。

停止	<p>もう1度運転/停止を押します。 運転ランプが消灯し、運転を停止します。</p>
-----------	--

- 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約3分間は送風運転します。

お願い

- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。

暖房運転の特性


運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

除霜運転

(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため自動で除霜運転に切り換わります。
- 風量が微風または送風停止となります。
送風が停止した場合は、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 風量が微風または送風停止の状態は、約6～18分で元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。( ページ参照)

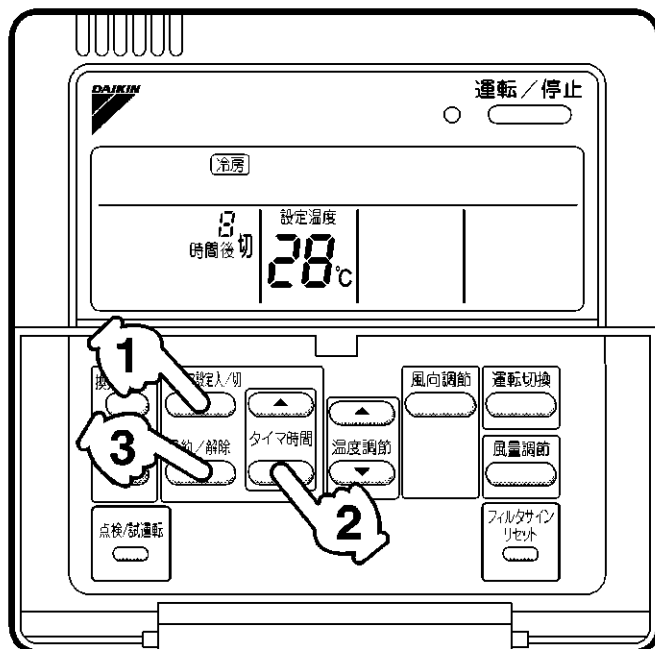
ホットスタート

- 暖房運転開始時、冷房から暖房への切換え時など、冷たい空気が吹き出すのを防ぐため送風を停止します。
このときコントロールパネルに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
SVYCP～DF・FF・GF・JFは、暖房運転開始時・除霜運転時などに送風を停止しませんので、冷たい空気が吹き出すことがあります。
- 風量が微風または送風停止の状態は、約6～18分で元の運転に戻ります。

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。
このような場合は、ほかの暖房器具と併用してお使いください。
- (燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買上げの販売店にご相談ください。

タイマー運転のしかた



- 上の表示は「8時間後 切」の場合です。
- タイマー設定は1回のみ有効です。
毎日タイマー設定するときは、都度設定が必要です。

1 タイマー設定入/切を押し、「時間後 切」か「時間後 入」を選びます。
押すごとに表示が、「表示なし」
「時間後 入」←「時間後 切」と切り換わります。
「時間後 切」または「時間後 入」が点滅します。

2 タイマー時間を押し、時間を設定します。
「▲」を押すごとに1時間ずつ進みます。
「▼」を押すごとに1時間ずつ戻ります。

3 予約/解除を押します。
これで予約完了です。
「時間後 入」または「時間後 切」が点滅から点灯に変わります。

- 最大72時間まで設定できます。
- 予約が済むと時間表示部に残り時間を表示します。

タイマー運転を取り消したいときは

取り消し もう1度予約/解除を押します。
表示が消えます。

運転の内容と働き

ご希望の時間運転後 停止させたいときは 時間後 切	ご希望の時間経過後運転 を開始させたいときは 時間後 入
<p>例 時間を「8」にあわせると ↓ 「8時間後 切」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を停止します。</p> <p>(注) 運転停止後予約は解除され、表示が消えます。</p>	<p>例 時間を「8」にあわせると ↓ 「8時間後 入」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を開始します。</p> <p>(注) 運転開始後予約は解除され、表示が消えます。</p>

「時間後 切」と「時間後 入」を同時に予約したいときは

●下の例を参照して操作してください。

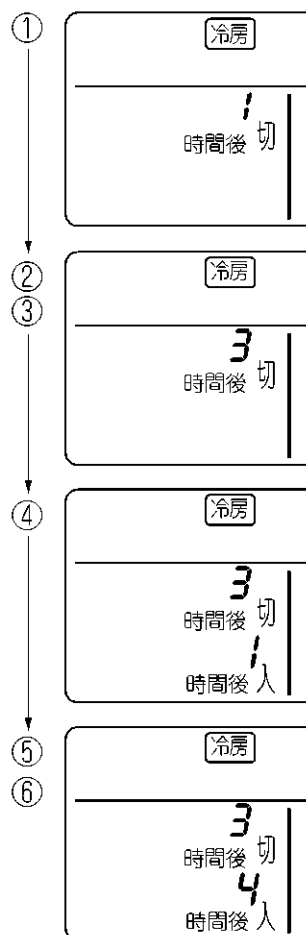
例 3時間後に停止し、その1時間後に運転する場合

↓

「3時間後 切」と「4時間後 入」とを設定します。

- ① **タイマー設定入/切**を押し、「**時間後 切**」を選びます。
(「時間後 切」が点滅します。)
- ② **タイマー時間**を押し、時間を「**3**」に設定します。
- ③ **予約/解除**を押します。
「3時間後 切」が設定されます。
(「3時間後 切」が点灯に変わります。)
- ④ 次に**タイマー設定入/切**を押し、「**時間後 入**」を選びます
(「時間後 入」が点滅します。)
- ⑤ **タイマー時間**を押し、時間を「**4**」に設定します。
- ⑥ **予約/解除**を押します。
「4時間後 入」が設定されます。
(「4時間後 入」が点灯に変わります。)

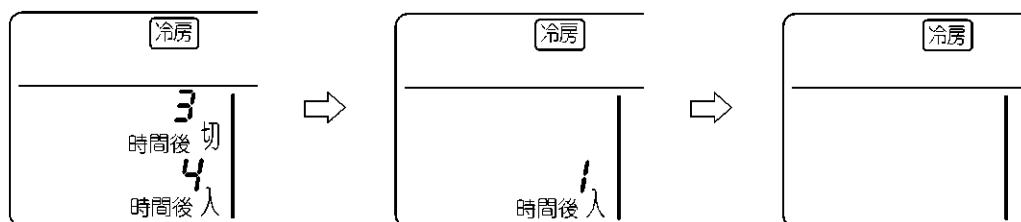
これで同時予約完了です。



「時間後 切」「時間後 入」を同時に予約した場合

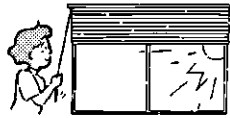
●予約完了したときから同時に残り時間をカウントし、表示します。

例 「3時間後 切」「4時間後 入」予約します。 3時間後に運転を停止します。 停止した1時間後から運転を開始します。 運転開始後予約は解除されます。

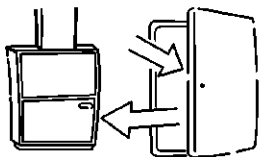


上手な使いかた

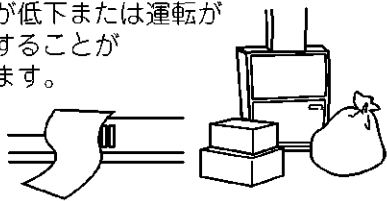
- 冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう
窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



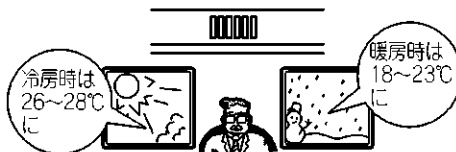
- ドアや窓を開けたままにするのはやめましょう
運転効率が悪くなります。




- 吹出口・吸込口の近くにものを置くのはやめましょう
能力が低下または運転が停止することがあります。



- 冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう
電気のムダ使いになります。



- エアフィルターはこまめに清掃しましょう
汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

 ページ参照



- テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコン(別売品)から1m以上離しましょう

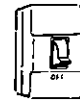
映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。



- 長時間使用しないときは電源をしゃ断しましょう

電源が入っていると、数ワット~数十ワットの電力(※1)を消費するためです。

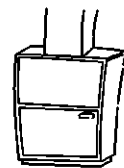
ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。(※2)



※1 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。
※2 設定は、電源をしゃ断する前の状態を記憶しています。
(タイマー設定は消去されます。)


- 風向調節を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。
風向は、冷房時は水平に、暖房時は下向きにして、体に直接当てないようにしてください。



- タイマー運転を有効に使いましょう

室温が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。

( ページ参照)



警告

- 可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



禁止

注意

- 室内・室外ユニットを水洗いしない
漏電によって感電
や火災の原因に
なることが
あります。



水ぬれ禁止

- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを
しゃ断する
電源をしゃ断しないと、
感電やけがの原因に
なることがあります。



お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けしないでください。性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた①

冷房または暖房シーズン始めには、必ず清掃し、ご使用中はコントロールパネルに「フィルター洗浄」が表示されたら、清掃してください。

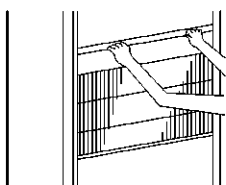
- 一定時間運転すると表示します。
- 汚れのひどいところでご使用になる場合は清掃のひん度を多くしてください。
- 表示されるまでの時間を変更することができます。時間を変更する場合はお買上げの販売店（またはサービスマン）にご依頼ください。
- 現地設定の内容を記録してください。

フィルター汚れ	約2500時間	約1250時間	
フィルターサイン表示	する	しない	
停電自動復帰	無	有	

設定した方に丸印をしてください。

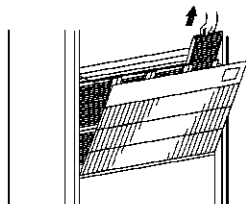
1. 吸込グリルを開けます。

とってを持って、手前に引いてください。



2. エアフィルターを取り出します。

エアフィルターを持って手前に引き上げてください。エアフィルターは引っ掛け部により連結した状態になっています。（450・560タイプのみ）
取出し時に連結部が外れないように注意して取り出してください。



3. 清掃します。

汚れは電気掃除機、または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、
柔らかいブラシや
中性洗剤を使って
洗ってください。



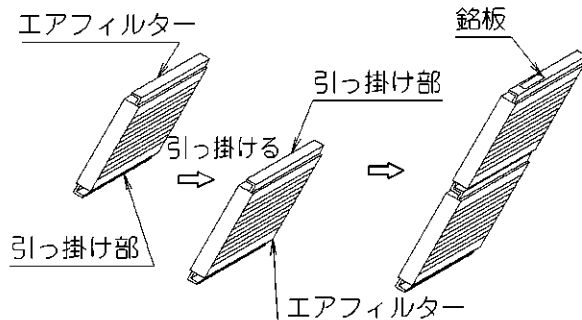
お願い

- 硬いブラシやタワシで洗わないでください。ろ材をいためることがあります。
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変形することがあります。
- 火であぶらないでください。燃えることがあります。
- 長時間、直射日光に当てないでください。変形することがあります。

4. エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けます。

- エアフィルターを取り付けるときは、銘板を貼り付けている側を手前にし、風向に注意してください。
- エアフィルターは引っ掛け部を連結して、収納してください。（450・560タイプのみ）



（次のページにつづきます。）

エアフィルターの清掃のしかた②

5. 吸込グリルを閉めます。

1(14 ページ)と逆の手順で、吸込グリルを閉めてください。

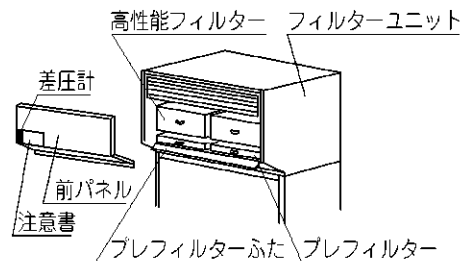
<省工事形クリーンルームエアコンの場合>

プレフィルターおよびエアフィルターのお手入れ方法

- プレフィルターおよびエアフィルターは、1か月に1度清掃してください。
- プレフィルターの取出方法は右図を、清掃方法は前頁の3の項目を参照してください。
- エアフィルターの取出方法および清掃方法は前頁の1～5の項目を参照してください。

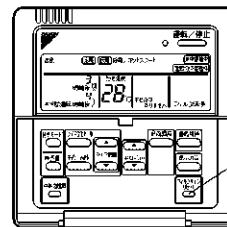
高性能フィルターの交換時期

- フィルターユニット正面左下側にある差圧計にて使用開始時の初期差圧を記録してください。記録のしかたは、フィルターユニット正面左下側にある注意書をご覧ください。
- 最終差圧が初期差圧に許容変化量を加えた数値に達した時点で、交換時期となります。新しい高性能フィルターに交換してください。
(フィルターユニットの前パネルを外し、プレフィルターふたを開けると高性能フィルター)およびプレフィルターが取り出せます。



6. コントロールパネルのフィルターサインリセットを押します。

「フィルター洗浄」表示が消えます。



フィルターサインリセット

吸込グリル・外装の掃除のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤をひたしよく絞った布で汚れをふきとった後、からぶきしてください。

お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 市販の液状殺虫剤などはかけないでください。変色や変形の原因になることがあります。

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ 障害物がある場合は取り除いてください。障害物による風量低下は能力低下や機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。清掃のしかたは 14,15 ページ参照
- 清掃後は、フィルターサインリセットボタンを押してください。

6時間以上前に電源を入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源を入れると、コントロールパネル表示部に文字が表示されます。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの原因になるためです。

電源ブレーカーをしゃ断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。節電のためにも電源をしゃ断してください。
- 電源ブレーカーがしゃ断されると、コントロールパネルの表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。清掃のしかたは 14,15 ページ参照

エアコンのメンテナンス (サービスマン用)

⚠️ 注意

●ここから記載しているメンテナンス作業はお客様自身で行わないでください
ケガや機器の損傷の原因になることがあります。

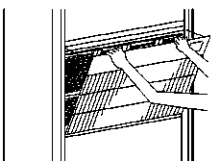


シーズン終わりには必ず清掃してください。

- ドレンパンのドレン出口が詰まると、室内から取り除いた水分があふれ、室内ユニットから水がもれることがあります。

1. 吸込グリルを取り外します。

- 吸込グリルを開けて、ひも(2本)を外してください。

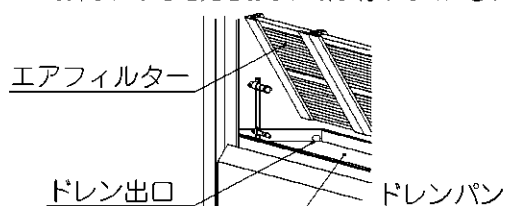


2. 清掃します。

- ドレンパンやドレン出口に付着しているホコリやゴミをぬれた布などでふき取ってください。

3. 吸込グリルを取り付けます。

- 1で外したひもを元どおりに取り付けてください。



ファン用ベルトの確認のしかた

⚠️ 警告

- 作業の前に必ずすべての電源(室内ユニットおよび室外ユニット)をシャ断してください



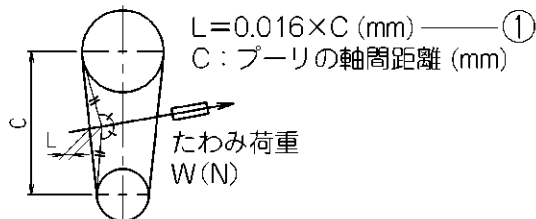
1. 吸込グリルを取り外します。

2. 前板(上)を取り外します。

3. ファン用ベルトの張りかた

- ファン用ベルトの1本当りの張力は、次のたわみ荷重(W)を満足するようにしてください。
- 適正たわみ量(L)の値を①式で計算し、その時のたわみ荷重(W)が下表の範囲内になるようにしてください。

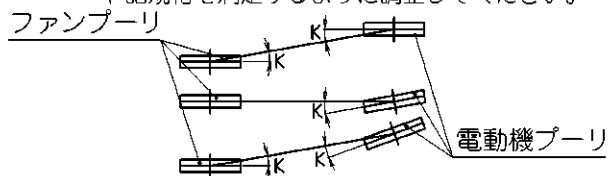
ファン用ベルトの種類	たわみ荷重 W(N)
A形	13.7~20.6
B形	22.6~34.3



- 注) ●新しいベルトの場合は、たわみ荷重(W)の最大値の約1.3倍程度に調整してください。
●プーリになじんだ後(運転後24~28時間)に上図適正張りに調節してください。

4. プーリの平行度調整のしかた

- ファンプーリと電動機プーリの平行度は、下記規格を満足するように調整してください。



	K(分)	備考
平行度	10以下	1m当り3mmのずれに相当

(注) 詳細は技術資料をご覧ください。

5. 前板(上)を取り付けます。

6. 吸込グリルを取り付けます。

⚠️ 注意

- ベルトの張力とプーリの平行度が不適切な場合、振動や異音が発生するおそれがあります

ベルトやプーリを点検・交換された場合は、必ず上記調整を実施し送風運転をして、異音・振動がないことを確認してください。(新しいベルトの場合、プーリになじむまでベルトの継ぎ目から異音が発生することがありますが、故障ではありません。)

お手入れについて

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

	症状	原因
運転しない	停止後、すぐに再運転したとき	コントロールパネルの運転ランプが点灯していれば正常です。機械に無理がかからないようコントロールしているためです。5分後に自動で運転を開始します。
	温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき	
	コントロールパネルに「集中管理中」が表示され、操作ボタンを押すと表示が数秒間点滅するとき	集中機器により、コントロールされているためです。表示の点滅はそのコントロールパネルで操作できないことを示します。
	電源を入れた直後	運転準備のためです。約1分間待ってください。
ときどき止まる	コントロールパネルに「U4」「U5」と表示され、停止するが数分で運転を再開する	エアコン以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信がしゃ断されて停止しているためです。電気雑音(ノイズ)がなくなると自動で運転を再開します。
白い霧が出る	〈室内ユニット〉 冷房時、湿度が高いとき(油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(※2)
	〈室内ユニット〉 冷房運転停止直後、室温・湿度が低いとき	熱いガス(冷媒)が室内ユニットに流れ込み湯気が発生するためです。
	〈室外ユニット〉 除霜運転中および除霜終了後、暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。
運転していないのに電力を消費する	停止中	機械の始動を円滑にするため、停止中も数ワット～数十ワットの電力を消費します。
室外ユニットから水が滴下する	運転中や運転停止後	運転条件によって室外ユニット内の冷媒配管が結露するためです。(※3)
室外ユニットの熱交換器に霜がつく	暖房運転中	熱交換器中の冷媒が外の空気から熱を吸収するためです。
音が出る	〈室内ユニット〉 電源を入れた直後の「ジーン」という音	室内ユニットの電子膨張弁(※1)が作動する音です。1分ぐらいで音が小さくなります。
	〈室内・室外ユニット〉 冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音	室内・室外ユニットおのおのにガス(冷媒)が流れている音です。
	〈室内・室外ユニット〉 運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。
	〈室内ユニット〉 冷房中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が作動している音です。
	〈室内ユニット〉 暖房中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。
	〈室外ユニット〉 運転音の音程が変わる	圧縮機が周波数を変更するためです。
	〈室外ユニット〉 運転中の「キーン」という音	圧縮機のインバーター作動中の音です。
	ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ、たばこのニオイなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。(※2)

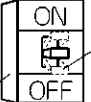



症状	原因
コントロールパネルに「 88 」と液晶表示が出る	電源を入れた直後 システムが初期状態を確認しているためです。 一時的に表示するだけです。
冷房・暖房の切り換えができない	コントロールパネルに「 運転切換管理中 」と表示されているとき このコントロールパネルに冷暖選択権がないためです。
	コントロールパネルに「 運転切換管理中 」と表示され、冷暖切換リモコンが設置されているとき 冷暖切換リモコンで冷房・暖房の切り換えを行っているためです。 設置場所は販売店にご確認ください。
送風運転はするが冷房・暖房運転しない	電源を入れた直後 運転準備のためです。 約10分間待ってください。
室外ファンが回らない	運転中 製品の運転を最適な状態にするためにファンの回転数を制御しているからです。
室外ユニットの圧縮機や室外ファンが止まらない	運転停止後 油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。 電源をしゃ断しないでください。
室外ユニットが熱い	停止中 これは機械の始動を円滑にするため、圧縮機を温めているためです。
停止しているのに暖気が出る	停止中に暖かい空気を感じる 複数台で運転するシステムの場合、ほかの室内ユニットを運転しているときに、停止ユニットにもわずかな冷媒を流しているからです。
除霜運転が長い	暖房運転中 室外ユニットの熱交換器に付着した霜の量により除霜運転の時間が長くなる場合があります。(最長18分)
運転が止まらない	運転/停止ボタンを押してもコントロールパネルに「 運転切換管理中 」と表示され運転が止まらない チェック運転を行っているためです。 チェック運転が終了すると停止します。

※1 室内ユニットに流れるガス(冷媒)の流量を制御する弁です。

※2 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

※3 排水処理が必要な場合はお買上げの販売店にご相談ください。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
全然運転しない	電源ヒューズが切れていませんか？	電源をしゃ断してください。
	電源がしゃ断されていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでください。  <p>電源ブレーカー (漏電しゃ断器)</p>
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するとすぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
よく冷えない、よく暖まらない 室外ユニットが運転・停止をくり返す	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	設定温度は適正ですか？	 ページ参照
	窓や扉が開いていませんか？	しっかり閉めてください。
	〔冷房時〕 直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
	〔冷房時〕 在室人員が多すぎませんか？	
	〔冷房時〕 室内に熱源 (OA機器など) が多すぎませんか？	
	室内ユニットのファン回転方向が逆向きになっている可能性があります。	お買上げの販売店へ室内ユニットのファン回転方向を確認し、電源線を正しく修正してもらうようご依頼ください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。
このとき、症状と機種名 (保証書に記載、室内ユニットの底フレームの銘板にも記載されています。) をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

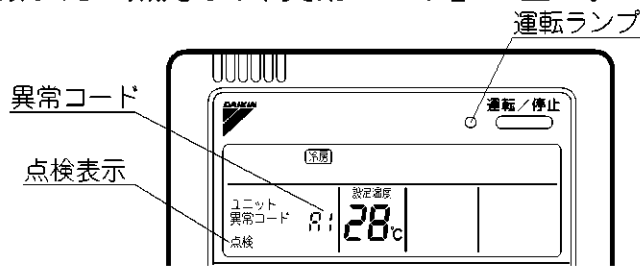


●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置がたびたび作動する。	電源をしゃ断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。
コントロールパネルの「運転ランプ」・「点検表示」が点滅または点灯し、「異常コード」が出る。	下記の「異常コード一覧表」を参照し、コントロールパネルの表示内容を連絡してください。 異常で停止した場合に、再度運転させると、バックアップ運転機能により、数時間運転できる場合がありますが、必ず、販売店にご連絡ください。



異常コード一覧

運 転 ラ ン プ	点 検 表 示	ユ ニ ッ ト No.	異 常 コ ー ド	異 常 内 容
点滅	点滅	点滅	A0	室内ユニット：外部保護装置異常
点滅	点滅	点滅	A1	室内ユニット：プリント基板ASSY EEPROM設定不良
点滅	点滅	点滅	A3	室内ユニット：ドレン水位系異常
点滅	点滅	点滅	A6	室内ユニット：ファンロック・過電流
点滅	点滅	点滅	A9	室内ユニット：電子膨張弁駆動部異常
点滅	点滅	点滅	AA	室内ユニット：電気ヒーター異常(冷房専用タイプのみ)
点滅	点滅	点滅	AJ	室内ユニット：容量設定不良
点滅	点滅	点滅	C1	室内ユニット：プリント基板(親)-プリント基板(子)間伝送異常
点滅	点滅	点滅	C4	室内ユニット：液管用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
点滅	点滅	点滅	C5	室内ユニット：ガス管用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
点滅	点滅	点滅	C9	室内ユニット：吸込空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
点滅	点滅	点滅	CA	室内ユニット：吹出空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
点灯	消灯	点滅	CJ	室内ユニット：リモコンセンサー異常
点滅	点滅	点滅	E1	室外ユニット：内外伝送極性不良
点滅	点滅	点滅	E2	室外ユニット：高圧圧力開閉器異常(接触不良・断線・不良)、 漏電検知作動(S(Z)VYCP~F・G・FF・GF・J・JFシリーズのみ)
点滅	点滅	点滅	E3	室外ユニット：高圧圧力カススイッチ作動 室外ユニット：漏電検知作動(S(Z)VYCP~F・G・FF・GFシリーズのみ)
点滅	点滅	点滅	E4	室外ユニット：低圧圧力カススイッチ作動
点滅	点滅	点滅	E5	室外ユニット：インバーター圧縮機ロック
点滅	点滅	点滅	E6	室外ユニット：定速圧縮機電動機過電流・ロック
点滅	点滅	点滅	E7	室外ユニット：ファン電動機ロック
点滅	点滅	点滅	E9	室外ユニット：電子膨張弁駆動部異常
点滅	点滅	点滅	F3	室外ユニット：吐出管温度異常
点灯	消灯	点滅	F4	室外ユニット：湿り異常

※※ (白抜き)の異常コードの場合は、システムは運転しますが、必ず表示内容を確認し、お買上げの販売店にご連絡ください。

知っておくべきこと

異常コード一覧

運 転 ランプ	点検 表示	ユニット No.	異 常 コード	異 常 内 容	
点滅	点滅	点滅	F6	室外ユニット：冷媒過充てん	
点滅	点滅	点滅	H7	室外ユニット：ファン電動機センサー異常	
点滅	点滅	点滅	H9	室外ユニット：室外空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)	
点滅	点滅	点滅	J2	室外ユニット：圧縮機電流センサー異常	
点滅	点滅	点滅	J3	室外ユニット：吐出管(一次側)用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)	
点滅	点滅	点滅	J5	室外ユニット：吸入管(一次側)用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)	
点滅	点滅	点滅	J6	室外ユニット：空気熱交用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)	
点滅	点滅	点滅	J7	室外ユニット：過冷却熱交液管サーミスタ異常	
点滅	点滅	点滅	J8	室外ユニット：熱交液管サーミスタ異常(接触不良・断熱・短絡・不良)	
点滅	点滅	点滅	J9	室外ユニット：過冷却熱交ガス管サーミスタ異常(接触不良・断熱・短絡・不良)	
点滅	点滅	点滅	JA	室外ユニット：吐出管用圧力センサー異常	
点滅	点滅	点滅	JC	室外ユニット：吸入管用圧力センサー異常	
点滅	点滅	点滅	L1	室外ユニット：インバーター系不良	
点滅	点滅	点滅	L2	試運転中の瞬時停電	
点滅	点滅	点滅	L3	インバーター直流利アクタ温度異常	
点滅	点滅	点滅	L4	室外ユニット：インバーター冷却不良	
点滅	点滅	点滅	L5	室外ユニット：圧縮機用電動機地絡、短絡、パワユニット短絡	
点滅	点滅	点滅	L8	室外ユニット：圧縮機過負荷、圧縮機用電動機断線	
点滅	点滅	点滅	L9	室外ユニット：圧縮機ロック	
点滅	点滅	点滅	LC	室外ユニット：インバーター ↔ 室外制御ユニット間伝送異常	
点灯	消灯	点滅	P2	冷媒追加充てん時の作業指示	
点滅	点滅	点滅	P3	インバーター直流利アクタ異常	
点灯	消灯	点滅	P8	冷媒追加充てん運転時の作業指示	
点灯	消灯	点滅	P9		P8：冷媒ボンベ接続指示
点灯	消灯	点滅	PE		P9：冷媒ボンベのバルブ開指示
点滅	点滅	点滅	PE	PE：冷媒追加充てんの終了準備指示	
点滅	点滅	点滅	PJ	インバーター・ファンドライバークombinせ不良、制御プリント基板種別設定不良	
点灯	消灯	点滅	U0	冷媒不足・電子膨張弁不良・閉鎖弁開け忘れなどによる低圧低下	
点滅	点滅	点滅	U1	逆相・欠相	
点滅	点滅	点滅	U2	電源電圧異常・臨時停電・インバータープリント基板 ↔ メインプリント基板接触不良	
点滅	点滅	点滅	U3	室外ユニット：試運転未実施	
点滅	点滅	点滅	U4	室内ユニット ↔ 室外・BSユニット間伝送異常 室外 ↔ BSユニット間伝送異常	
点滅	点滅	点滅	U5	リモコン ↔ 室内ユニット間伝送異常	
消灯	点灯	消灯	U6	リモコン基板不良またはリモコン制御時設定不良	
点滅	点滅	点滅	U6	室内ユニット間伝送異常	
点滅	点滅	点滅	U7	室外ユニット間伝送異常	
点滅	点滅	消灯	U8	主リモコン ↔ 従リモコン間伝送異常(従リモコン異常)	
点滅	点滅	点滅	U9	同一冷媒系統のほかの室内ユニット ↔ 室外ユニット間伝送異常 同一冷媒系統のほかのBSユニット ↔ 室内・外ユニット間伝送異常 チェック運転中に同一冷媒系統のほかの室内ユニットで異常発生	
点滅	点滅	点滅	UA	室内・BS・室外ユニット組合わせ不良(機種(適用冷媒違い)・台数など) 室内ユニット・リモコン組合わせ不良(該当リモコン) BSユニット接続位置不良、誤配線異常、プリント基板種別設定不良(補助プリント基板)	
点灯	消灯	点滅	UC	集中アドレス重複	
点滅	点滅	点滅	UE	室内ユニット ↔ 集中コントローラ間伝送異常	
点滅	点滅	点滅	UF	システム未設定	
点滅	点滅	点滅	UH	システム系不良	
点滅	点滅	点滅	UJ	オプション機器伝送異常	
点灯	消灯	点滅	UJ	オプション機器伝送警報	

※※ (白抜き)の異常コードの場合は、システムは運転しますが、必ず表示内容を確認し、お買上げの販売店にご連絡ください。

※※ 据付時またはサービス時における冷媒追加充てん運転中の作業指示を示します。

製品の種類と運転音

〈設備用ZEAS (冷暖房兼用タイプ)・標準タイプ〉

総称名	SZVYCP 140D	SVYCP 140D	SZVYCP 224D	SVYCP 224D	SZVYCP 280D	SVYCP 280D	SZVYCP 450D	SVYCP 450D	SZVYCP 560D	SVYCP 560D	
室内ユニット名	FVYCP140M		FVYCP224M		FVYCP280M		FVYCP450M		FVYCP560M		
室外ユニット名	RZYCP 140D	RYCP 140D	RZYCP 224D	RYCP 224D	RZYCP 280D	RYCP 280D	RZYCP 450D	RYCP 450D	RZYCP 560D1	RYCP 560D1	
									RZYCP 560D2	RYCP 560D2	
総称名	SZVYCP 140F	SVYCP 140F	SZVYCP 224F	SVYCP 224F	SZVYCP 280F	SVYCP 280F	SZVYCP 450F	SVYCP 450F	SZVYCP 560F	SVYCP 560F	
室内ユニット名	FVYCP140M		FVYCP224M		FVYCP280M		FVYCP450M		FVYCP560M		
室外ユニット名	RZYCP 140F	RYCP 140F	RZYCP 224F	RYCP 224F	RZYCP 280F	RYCP 280F	RZYCP 450F	RYCP 450F	RZYCP 560F1	RYCP 560F1	
									RZYCP 560F2	RYCP 560F2	
総称名	SZVYCP 140G	SVYCP 140G	SZVYCP 224G	SVYCP 224G	SZVYCP 280G	SVYCP 280G	SZVYCP 450G	SVYCP 450G	SZVYCP 560G	SVYCP 560G	
室内ユニット名	FVYCP140M		FVYCP224M		FVYCP280M		FVYCP450M		FVYCP560M		
室外ユニット名	RZYCP 140G	RYCP 140G	RZYCP 224G	RYCP 224G	RZYCP 280G	RYCP 280G	RZYCP 450G	RYCP 450G	RZYCP 560G1	RYCP 560G1	
									RZYCP 560G2	RYCP 560G2	
総称名	SZVYCP 140J	SVYCP 140J	SZVYCP 224J	SVYCP 224J	SZVYCP 280J	SVYCP 280J	SZVYCP 450J	SVYCP 450J	SZVYCP 560J	SVYCP 560J	
室内ユニット名	FVYCP140M		FVYCP224M		FVYCP280M		FVYCP450M		FVYCP560M		
室外ユニット名	RZYCP 140J	RYCP 140J	RZYCP 224J	RYCP 224J	RZYCP 280J	RYCP 280J	RZYCP 450J	RYCP 450J	RZYCP 560J1	RYCP 560J1	
									RZYCP 560J2	RYCP 560J2	
種類	機能	冷暖房兼用形									
	ユニット構成	分離形									
	凝縮器の冷却方式	空冷式									
	送風方法	室内ユニット	ダクト接続形（別売品取付けにより直接吹出可能）								
		室外ユニット	直接吹出形								
性能	冷房能力 (kW)(★1)	12.5 (14.0)	12.5/14.0	20.0 (22.4)	20.0/22.4	25.0 (28.0)	25.0/28.0	40.0 (45.0)	40.0/45.0	50.0 (56.0)	50.0/56.0
	暖房能力 (kW)(★1)	14.0 (16.0)	14.0/16.0	22.4 (25.0)	22.4/25.0	28.0 (31.5)	28.0/31.5	45.0 (50.0)	45.0/50.0	56.0 (63.0)	56.0/63.0
運転音 (dB)	室内ユニット(★2)	51		52		53		60		61	
	室外ユニット(★3) D・F・G型	54		57		58		60/61		61	
	室外ユニット(★3) J型	54		57		58		64		62	

- (注) 1.★1の()内数値は、最大能力を示します。
 2.★2はJIS B8616規格に準拠し、無響室換算したときの値です。
 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
 据付けに際しては、反射音の影響を考慮し、必要な場合は吸音またはしゃ音処置をしてください。
 JIS標準(吹出・吸込)ダクト接続時。
 標準風量、標準機外静圧時。
 3.★3はJIS B8615規格の定格条件において、無響室換算した値です。
 室外ユニットは、本体前方1m、高さ1.5mの位置における測定値を示します。
 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
 4./で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。その他は50Hz、60Hz共通です。
 5.この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

〈設備用ZEAS（冷房専用タイプ）〉

総称名	SZVCP140D	SZVCP224D	SZVCP280D	SZVYCP450D	SZVYCP560D
室内ユニット機種名	FVYCP140M	FVYCP224M	FVYCP280M	FVYCP450M	FVYCP560M
室外ユニット機種名	RZCP140D	RZCP224D	RZCP280D	RZCP450D	RZCP560D1 RZCP560D2
総称名	SZVCP140F	SZVCP224F	SZVCP280F	SZVYCP450F	SZVYCP560F
室内ユニット機種名	FVYCP140M	FVYCP224M	FVYCP280M	FVYCP450M	FVYCP560M
室外ユニット機種名	RZCP140F	RZCP224F	RZCP280F	RZCP450F	RZCP560F1 RZCP560F2
総称名	SZVCP140G	SZVCP224G	SZVCP280G	SZVYCP450G	SZVYCP560G
室内ユニット機種名	FVYCP140M	FVYCP224M	FVYCP280M	FVYCP450M	FVYCP560M
室外ユニット機種名	RZCP140G	RZCP224G	RZCP280G	RZCP450G	RZCP560G1 RZCP560G2
総称名	SZVCP140J	SZVCP224J	SZVCP280J	SZVYCP450J	SZVYCP560J
室内ユニット機種名	FVYCP140M	FVYCP224M	FVYCP280M	FVYCP450M	FVYCP560M
室外ユニット機種名	RZCP140J	RZCP224J	RZCP280J	RZCP450J	RZCP560J1 RZCP560J2
種	機能	冷房専用形			
	ユニット構成	分離形			
類	凝縮器の冷却方式	空冷式			
	送風方法	ダクト接続形（別売品取付けにより直接吹出可能）			
	室内ユニット 室外ユニット	直接吹出形			
運転音 (dB)	冷房能力(kW)(★1)	12.5(14.0)	20.0(22.4)	25.0(28.0)	40.0(45.0) 50.0(56.0)
	室内ユニット(★2)	51	52	53	60 61
	室外ユニット(★3) D・F・G型	54	57	58	60/61 61
	室外ユニット(★3) J型	54	57	58	64 62

〈年間冷房中温形〉

総称名	SZVCP224MK	SZVCP280MK	SZVCP450MK	SZVCP560MK
室内ユニット機種名	FVCP224MK	FVCP280MK	FVCP450MK	FVCP560MK
室外ユニット機種名	RZCP224MK	RZCP280MK	RZCP224MK RZCP280MK	RZCP280MK RZCP280MK
種	機能	冷房専用形		
	ユニット構成	分離形		
類	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方法	ダクト接続形（別売品取付けにより直接吹出可能）		
	室内ユニット 室外ユニット	直接吹出形		
運転音 (dB)	冷房能力(kW)(★1)	20.0(22.4)	25.0(28.0)	40.0(45.0) 50.0(56.0)
	室内ユニット(★2)	52	53	60 61
	室外ユニット(★3)	57/58	58	60/61 61

〈省工事形クリーンルーム用〉

総称名	SVYCP140DF	SVYCP224DF	SVYCP280DF	SVYCP450DF	SVYCP560DF
室内ユニット機種名	FVYCP140MF	FVYCP224MF	FVYCP280MF	FVYCP450MF	FVYCP560MF
室外ユニット機種名	RYCP140D	RYCP224D	RYCP280D	RYCP450D	RYCP560D1 RYCP560D2
総称名	SVYCP140FF	SVYCP224FF	SVYCP280FF	SVYCP450FF	SVYCP560FF
室内ユニット機種名	FVYCP140MF	FVYCP224MF	FVYCP280MF	FVYCP450MF	FVYCP560MF
室外ユニット機種名	RYCP140F	RYCP224F	RYCP280F	RYCP450F	RYCP560F1 RYCP560F2
総称名	SVYCP140GF	SVYCP224GF	SVYCP280GF	SVYCP450GF	SVYCP560GF
室内ユニット機種名	FVYCP140MF	FVYCP224MF	FVYCP280MF	FVYCP450MF	FVYCP560MF
室外ユニット機種名	RYCP140G	RYCP224G	RYCP280G	RYCP450G	RYCP560G1 RYCP560G2
総称名	SVYCP140JF	SVYCP224JF	SVYCP280JF	SVYCP450JF	SVYCP560JF
室内ユニット機種名	FVYCP140MF	FVYCP224MF	FVYCP280MF	FVYCP450MF	FVYCP560MF
室外ユニット機種名	RYCP140J	RYCP224J	RYCP280J	RYCP450J	RYCP560J1 RYCP560J2
フィルターユニット (必須別売品)	直吹形 KFU1B140	ダクト形 KFU1B224	直吹形 KFU1B280	ダクト形 KFU1B450	直吹形 KFU1B560
機能	冷暖房兼用形				
ユニット構成	分離形				
凝縮器の冷却方式	空冷式				
送風方法	室内ユニット 直接吹出形、ダクト形（別売フィルターユニットによる）				
送風方法	室外ユニット 直接吹出形				
冷房能力 (kW) (★1)	12.5/14.0	20.0/22.4	25.0/28.0	40.0/45.0	50.0/56.0
暖房能力 (kW) (★1)	15.0/17.0	23.6/26.5	30.0/33.5	47.2/53.0	60.0/67.0
運転音 (dB)	室内ユニット(★2) 59	59	60	68	69
	室外ユニット(★3) D・F・G型 54	57	58	60/61	61
	室外ユニット(★3) J型 54	57	58	64	62

- (注) 1.★1の()内数値は、最大能力を示します。
 2.★2はJIS B8616規格に準拠し、無響室換算したときの値です。
 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
 据付けに際しては、反射音の影響を考慮し、必要な場合は吸音またはしゃ音処置をしてください。
 JIS標準（吹出・吸込）ダクト接続時。
 標準風量、標準機外静圧時。
 3.★3はJIS B8615規格の定格条件において、無響室換算した値です。
 室外ユニットは、本体前方1m、高さ1.5mの位置における測定値を示します。
 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
 4./で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。その他は50Hz、60Hz共通です。
 5.この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

〈ビル用マルチ〉

機種	FVYCP140M	FVYCP224M	FVYCP280M	FVYCP450M	FVYCP560M
機能	冷暖房兼用形				
ユニット構成	分離形				
送風方法	ダクト接続形（別売品取付けにより直接吹出可能）				
冷房能力 (kW)	14.0	22.4	28.0	45.0	56.0
暖房能力 (kW)	16.0	25.0	31.5	50.0	63.0
運転音 (dB)	51	52	53	60	61

- (注) 運転音はJIS B8616（日本工業規格）における数値です。
 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
 この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

知っておいてください

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・
火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

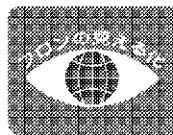


禁止

フロンについて

- 1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類を回収する必要があります。
- 2) 本機には以下に示す量(CO₂換算)のフロン類が使用されています。

P140形の場合	: CO ₂ 31.1トン相当
P224~P280形の場合	: CO ₂ 62.1トン相当
P450形の場合	: CO ₂ 99.7トン相当
P560形の場合	: CO ₂ 124.1トン相当
- 3) 上記2)の数値は、本機が接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長などにより異なります。システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。



この表示はエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
(コントロールパネルの表示内容もお知らせください。)
 - ご住所・お名前・お電話番号
- } 保証書に記載してあります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品の製造打ち切り後9年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①ひんばんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	弁(電磁弁・四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
暖房用補助電気ヒーター		8年	ドレンパン(注3)		8年
空気清浄ユニット		25,000時間	超音波式加湿器	6ヵ月	4年
プリント基板類		5年	コントロールパネルおよびスイッチ類	1年	25,000時間
熱交換器		20,000時間	ファン		室外:10年、室内:13年
電子膨張弁					

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
 また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
 注3. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
 注4. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
 詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	クランクケースヒーター		8年
ファン用ベルト		5,000時間	自然蒸発式加湿器(注3)	6ヵ月	3年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
 注3. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
 詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。
 なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
 ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

知っておくべきこと

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の「ご購入店」へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 据付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

ダイキンコンタクトセンター
(お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。



0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1108

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P227403-6H

M02A120K (1206) FS